

令和 3 年度 学校経営環境分析書

和庄中学校区 校番 14 学校名 呉市立本通小学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p><地域環境> ○呉市美術館・日本遺産入船山記念館等, 地域学習できる諸施設が近くにある。 ○校区に商業施設が多い。 ○中心部の文化施設等に近い。 <教育環境> ○地域社会が落ち着いており, 見守りパトロール等協力体制ができています。 ○PTAは自治活動を行い, 協力的である。学校に批判的な保護者は少ない。 ○本通小出身の保護者や地域の方が多く, 学校に誇りをもっている。とんど等伝統的な行事を大切にしている。 ○小中一貫教育が充実し, 4校の連携体制が整っている。</p>	<p>S (強み)</p> <p><児童の実態> ○素直で, 活動にまじめに取り組む児童が多い。 ○問題行動は少ない。 ○小規模校のため, 異学年の児童の関わりが見られる。 <教職員集団> ○教育活動に前向きに取り組む教職員が多い。 ○「チーム本通」の意識が定着し, 協力して教育活動に取り組む。 ○学校としての行動統一が浸透しやすい。 ○特別支援の教育相談体制が確立している。</p>	内部環境	支援的要因と強みを生かした活動・取組は ○小中一貫教育を推進し, 9年間を通して和庄中学校区で設定した資質・能力を育成する。 ○授業づくりや単元づくり, 個別指導等全学級が意識統一し, 組織として主体的な学びを進め, 学力向上を図る。 ○地域の特色を生かしてカリキュラムマップに基づいた実践を行う。 ○学校行事や縦割り班活動を充実させ, 高学年児童のリーダー性を育成する。
	<p>T (阻害的要因)</p> <p><地域環境> ○交通量が多く, 登下校での安全面で課題がある。 ○校区に傾斜地があり, 土砂災害や洪水等の危険がある。 ○通学路の距離が短く, 体力が付きにくい。 ○商業施設が多く, 生徒指導上の指導が必要である。 <家庭環境> ○保護者対応の難しさから, 1度起きたトラブルが長引くことがある。 ○教育力に不安のある家庭がある。</p>	<p>W (弱み)</p> <p><児童の実態> ○学力差が大きく, 学年によっては, 基礎学力が特に低い児童が見られる。 ○クラス替えがなく常に同じ集団のため, 人間関係が固定化されており, 1度起きたトラブルが長引く。 ○指示されたことはできるが, 自分から主体的に行動できる児童は少なく, 表現力にも課題がある。 ○長欠児童がいる。 <教職員集団> ○教職員1人あたりの分掌量が多く, 多忙感がある。</p>		阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は ○基礎学力が特に低い状況克服のため個別指導・少人数指導を充実させる。 ○学力向上と生徒指導の充実を図るために, 教職員が共通認識をもって繰り返し指導していく。 ○なごみ賞等自尊感情向上のための取組を充実させ和庄中学校区スピリットに基づく児童を育成する。 ○各教科・領域と関連させて防災教育を充実させる。 ○基本的生活習慣の確立と体力向上を図る。 ○業務改善を進め, 教職員の意欲向上を図る。 ○必要に応じて, 専門機関との連携を図る。

2 重点課題

児童及び教職員の「主体性・積極性」を育成するために次の4点に取り組む。

- ① 基礎基本の学力を定着させ, 主体的・対話的で深い学びにつながる思考力・表現力を育成する。
- ② 自尊感情の向上を図り, 和庄中学校区スピリットに基づく児童を育成する。
- ③ 個々の体力向上を図り, 基本的生活習慣を確立するとともに自分の命を守る防災教育を進める。
- ④ 働き方改革を進める。